
神様見習いの通過儀礼

狗寂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神様見習いの通過儀礼

【Nコード】

N4187BA

【作者名】

狗寂

【あらすじ】

神社でお参りしたらキチガイに刺され死亡。そこから神様に会ってなんだかんだで神様見習いとして様々な世界に武者修行の旅にでる。

え？何この死亡フラグ（汗） 1

それは、ある冬の季節に起こった事である。

寒い寒い北風が吹き付ける中、私の体は神社の石段の上で倒れてる。

体は痛いのと熱いのが交ざったような、なんとも言えない感覚が体
の中で行き来する。

体を動かそうとするが、痙攣のように震えているだけで、口から赤い紅いアカイ血が吐き出される。

口の中は血だらけで鉄の味しかない。

周りにも血の匂いが鼻を刺激してなお、口から血が込み上げる。

なんでこんな状況になったんだらう？

頭を働かせようとするが意識がぼやけてそれどころじゃない。

でも、考える。なぜ、私は今、血を吐き倒れているのだらうと。

なぜ、体が動かないのだらうと。

なぜ、こんなにも胸が熱く、痛いのだらうと。

でも、その目には頭で理解するよりも早くて分かりやすい光景が目の前に広がっていた。

「あ、アハハ・・・アハハハははははは！や、やった、やったワヨ！こ、これでワタシは皆ノお姫様にナれるワ！待っててネ皆！この神に愛サレテいるワタシが今会いニ行クワ！アハハハはハハ！」

手や制服を血まみれにして狂い叫ぶ女。

その手に握っているのは今（現代）では見かけない30？はあるだろうサバイバルナイフが握られている

そのサバイバルナイフにも紅い赤い液体が塗られており、電灯の人工的な光によってソレは歪なほど不気味に輝いていた。

そしてその光景を見て分かったのは・・・

今、このキチガイによって殺されようとしていることだけである。

その答えを導いたと同時に彼女の生命も事切れてしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4187ba/>

神様見習いの通過儀礼

2012年1月11日00時48分発行